

令和5年度事業報告書

事業報告書（法人）

1 法人事業活動状況

本年度は、コロナ禍により大きく増加したひきこもり支援事業を鹿沼市民サポートズ、コブルとともにに行い、在宅の方のニーズを聞き、医療につないだり、グループホームの利用を勧めたりすることができた。在宅の方の変化を促すかわりのために家族療法について学び、地域に意識を広げることができた。

また、日本財団「みらいの福祉事業」に応募し、地域に開かれた福祉とはどうあるべきかを関係者を交えて深く追求した。残念ながら最終審査で不採択となってしまったが、CCVが地域をケアする施設としての役割が明確になり、今後の方向性が見え、ダックの移転に向け新たなビジョンを構築することができた。

本年度の放課後等デイサービス「CCVEpic」利用者はほとんどが不登校児童生徒である。鹿沼市でも「不登校相談はCCVへ」と期待する流れが福祉の中でもできている。フリースクールと放課後デイサービスを共に運営するところは珍しく、学校の出席認定は受けやすい状態である。フリースクールでは、教育的な学びと育ちを推進し、放課後等デイでは、医療的理解とありのままを認め個別に対応する丁寧さが求められてきた。双方が融合することで、より、本人の特性を認めたかわりができ、自己肯定感を育成し、学校復帰する児童生徒が増えた。さらに教育委員会や福祉関係者と連携を取りながら、新しい学びの形と不登校支援策について連携していきたい。

鹿沼市文化活動交流館の文化財「シカノクラ」を使用して文化祭を実施することができた。絵画・音楽などの芸術活動を通じ一人一人の個性を表現する機会をもち楽しめる施設づくりを目指した。

2 総会・理事会の開催状況

(1) 総会

日時 令和5年6月17日（土）（CCV ウェルフェア）

議題 令和4年度事業報告・決算報告について

令和5年度事業計画・予算について

CCV ダック運営規定の変更について

身体拘束等の適正化のための指針の策定について

(2) 理事会

令和5年3月28日（木）（社会福祉協議会）

3 管理者会議

毎月1回開催 参加者 理事長 所長 部長

予算執行状況の確認 法人全体の将来ビジョン 行政との連携などについて協議

4 運営会議

毎月1回開催。参加者 理事長 所長 部長 主任

予算の執行状況の確認、各事業所報告、地域課題 地域連携などについて協議